

立命館大学「暴力からの人間存在の回復」研究会主催

若手研究者ワークショップ

実存思想の展開可能性

日時：2017年10月13日（金）14：00～18：30

場所：立命館大学衣笠キャンパス

末川記念会館 第3会議室

提題者

戸谷洋志（大阪大学）：

生命の、あるいは子どもの実存－ハンス・ヨナスの倫理思想における実存主義の影響について

横田祐美子（立命館大学）：

実存とその表現をめぐる問い－ジョルジュ・バタイユにおける実存主義批判と生の言語について

伊藤潤一郎（早稲田大学）：

存在論的差異の實在としての実存－マラブーのナンシー論から存在論的共同体論へ

司会： 谷徹教授（立命館大学）

※ 各発表後、休憩をはさみ司会者からのコメントと全体での討議を行います。

※ ワークショップ後、講演者を囲む懇親会を予定しております。

※ 事前のご連絡は不要で、当日どなたでも参加できます。

問い合わせ先：立命館大学 人文科学研究所

TEL：075-465-8225

FAX：075-465-8245

E-MAIL:jinbun@st.ac.jp